



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長瀬 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括

(氏名) 古川 方理

TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	131,520	△29.9	1,609	△65.6	2,072	△61.6	997	△68.1
21年3月期第1四半期	187,709	—	4,673	—	5,396	—	3,121	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.76	—
21年3月期第1四半期	24.28	24.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	341,689	199,305	56.2	1,492.97
21年3月期	340,968	191,931	54.1	1,435.88

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 191,937百万円 21年3月期 184,599百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	271,000	△29.5	4,000	△55.1	4,400	△55.3	2,300	△59.7	17.89
連結累計期間	564,000	△21.1	8,400	△32.9	9,400	△28.0	5,000	△13.9	38.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	138,408,285株	21年3月期	138,408,285株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	9,847,902株	21年3月期	9,846,589株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	128,560,758株	21年3月期第1四半期	128,569,083株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年4月30日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績全般の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、在庫調整の進展により一部に回復傾向がみられるものの、生産活動は総じて低調に推移し、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当第1四半期の業績は、国内販売は828億4千万円(前年同期比23.6%減)、海外販売が486億7千万円(同38.6%減)となり、売上高は1,315億2千万円(同29.9%減)となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少が大きく影響し、営業利益は16億円(同65.6%減)、経常利益は20億7千万円(同61.6%減)、四半期純利益は9億9千万円(同68.1%減)となりました。

(2) 事業別概況

当第1四半期より事業別セグメントの区分を一部変更しております。前年同期比につきましては、前第1四半期を当第1四半期において用いた事業の区分に組替えて算出しております。

【化成品】 売上高：524億2千万円 前年同期比29.9%減

化成品につきましては、景気低迷による化成品業界全体の需要減少の影響を受け、塗料原料やウレタン原料、樹脂原料・添加剤などを扱う機能化学品事業、染料・顔料などをはじめとする「色」に関連した商品を取扱う色材事業、また、界面活性剤および工業用油剤、シリコーンやフッ素関連などの有機合成原料を幅広く取扱うスペシャリティケミカル事業の全ての事業で売上が大幅に減少しました。

【合成樹脂】 売上高：383億9千万円 前年同期比42.2%減

合成樹脂につきましては、海外での販売が、北東アジア、東南アジアおよび北米地域の全てにおいて大幅に減少しました。また、国内においても精密機器・電子機器用途や自動車関連用途の売上が大幅に落ち込んだほか、建材および包装資材用途も減少したため、全体として売上が大幅に減少しました。

【電子】 売上高：262億5千万円 前年同期比18.7%減

電子につきましては、液晶用フィルム、タッチパネル用部材などを扱うディスプレイ関連は大きく伸長しました。一方、精密研磨剤関連はハードディスク、シリコンウェハー用途共に低調、半導体製造用薬液、装置等も稼働が戻らず低調、変性エポキシ樹脂関連は重電向けにほぼ前年同期並みに推移しましたが、自動車、弱電向けの不調の影響で売上が減少し、全体として売上が大幅に減少しました。

【ライフサイエンス】 売上高：141億5千万円 前年同期比3.0%増

ライフサイエンスにつきましては、ファインケミカル事業における医薬中間体および農薬原料などの売上が微増となりました。化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア事業の売上は微減となり、全体としては前年同期並みとなりました。

【その他】 売上高：2億9千万円 前年同期比33.2%減

特記すべき事項はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況

総資産は、売上債権の減少や棚卸商品の減少がありましたが、手元流動性資金を積み増したことによる有価証券の増加や株価の上昇による投資有価証券時価評価額の増加等により 3,416 億 8 千万円となり、前期末に比べ 7 億 2 千万円増加しました。

負債は、繰延税金負債の増加がありましたが、短期借入金の減少や仕入債務の減少等により 1,423 億 8 千万円となり、前期末に比べ 66 億 5 千万円減少しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加等により 1,993 億円となり、前期末に比べ 73 億 7 千万円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は前期末の 54.1%から 2.1 ポイント上昇し、56.2%となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の減少および税金等調整前四半期純利益等により 225 億 3 千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等がありましたため、20 億 9 千万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少や配当金の支払い等により 69 億 6 千万円の支出となりました。

以上の結果、当第 1 四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ 139 億 3 千万円増加し、500 億 7 千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日に公表いたしました、平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成21年7月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 従来、法人税等の納付税額の算定に関して、一部の連結子会社におきましては法定実効税率をベースとした年間見積実効税率を用いて計算するなど四半期特有の会計処理を採用しておりましたが、四半期会計期間の税金費用をより適切に計算することを目的として、当第 1 四半期より年度決算と同様の原則的な会計処理に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

② 当第 1 四半期より事業別セグメントの区分を一部変更しております。詳細につきましては、9 ページ「(5) セグメント情報」に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,423	26,137
受取手形及び売掛金	151,623	166,380
有価証券	27,000	10,000
商品及び製品	29,649	37,303
仕掛品	347	448
原材料及び貯蔵品	2,052	2,320
その他	8,334	8,534
貸倒引当金	△1,909	△1,976
流動資産合計	240,521	249,147
固定資産		
有形固定資産	40,404	39,207
無形固定資産	2,678	2,768
投資その他の資産		
投資有価証券	52,204	43,569
その他	6,358	6,915
貸倒引当金	△477	△641
投資その他の資産合計	58,085	49,843
固定資産合計	101,167	91,820
資産合計	341,689	340,968
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,376	90,007
短期借入金	14,706	19,888
未払法人税等	1,146	1,182
引当金	1,663	2,658
その他	12,933	12,519
流動負債合計	116,824	126,255
固定負債		
長期借入金	11,027	11,052
繰延税金負債	6,874	3,993
退職給付引当金	6,930	6,888
その他	726	846
固定負債合計	25,559	22,781
負債合計	142,384	149,036

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,040	10,040
利益剰余金	168,218	168,257
自己株式	△5,386	△5,385
株主資本合計	182,572	182,611
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,473	7,939
繰延ヘッジ損益	31	64
為替換算調整勘定	△4,139	△6,016
評価・換算差額等合計	9,365	1,987
新株予約権	235	235
少数株主持分	7,132	7,096
純資産合計	199,305	191,931
負債純資産合計	341,689	340,968

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	187,709	131,520
売上原価	168,184	117,384
売上総利益	19,525	14,135
販売費及び一般管理費	14,852	12,525
営業利益	4,673	1,609
営業外収益		
受取利息	78	45
受取配当金	577	397
持分法による投資利益	143	44
その他	237	228
営業外収益合計	1,037	716
営業外費用		
支払利息	225	174
その他	88	78
営業外費用合計	314	253
経常利益	5,396	2,072
特別利益	0	54
特別損失	22	141
税金等調整前四半期純利益	5,374	1,985
法人税、住民税及び事業税	2,762	455
法人税等調整額	△684	489
法人税等合計	2,077	945
少数株主利益	175	43
四半期純利益	3,121	997

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,374	1,985
減価償却費	1,230	1,231
退職給付引当金の増減額(△は減少)	100	34
前払年金費用の増減額(△は増加)	469	394
受取利息及び受取配当金	△655	△442
支払利息	225	174
為替差損益(△は益)	99	△12
売上債権の増減額(△は増加)	9,770	17,040
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,906	9,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,133	△5,088
その他	△1,036	△1,173
小計	12,351	23,145
利息及び配当金の受取額	779	489
利息の支払額	△200	△171
法人税等の支払額	△3,560	△928
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,369	22,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,309	△1,501
有形固定資産の売却による収入	27	10
投資有価証券の取得による支出	△158	△71
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△187
短期貸付金の増減額(△は増加)	21	33
無形固定資産の取得による支出	△264	△236
定期預金の増減額(△は増加)	—	△343
その他	24	205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,659	△2,092
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,477	△5,741
長期借入れによる収入	5,000	—
配当金の支払額	△2,186	△1,028
少数株主への配当金の支払額	△165	△169
その他	11	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,818	△6,960
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,249	453
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,357	13,935
現金及び現金同等物の期首残高	23,486	36,137
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	6
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,129	50,079

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	69,966	65,561	37,999	13,744	438	187,709	—	187,709
(2) セグメント間の内部売上高	8	57	43	5	1,212	1,328	(1,328)	—
計	69,974	65,618	38,042	13,750	1,651	189,038	(1,328)	187,709
営業費用	67,997	64,569	36,645	13,623	1,608	184,445	(1,408)	183,036
営業利益	1,976	1,048	1,397	127	42	4,592	80	4,673

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレットリー用原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、副資材、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、通信デバイス、低温・真空機器、外観検査機、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	52,428	38,390	26,250	14,157	293	131,520	—	131,520
(2) セグメント間の内部売上高	0	38	39	5	1,019	1,103	(1,103)	—
計	52,428	38,429	26,290	14,162	1,313	132,623	(1,103)	131,520
営業費用	51,022	38,599	26,334	13,788	1,346	131,092	(1,182)	129,910
営業利益又は営業損失(△)	1,405	△170	△44	374	△33	1,531	78	1,609

(注) 1. 事業の区分は社内管理上使用している区分によっております。

2. 事業区分の変更

事業区分につきましては、より一層のシナジー効果を図るため、当第1四半期連結累計期間より、従来「電子」に含まれていた情報・機能資材事業の内、絶縁材料、フッ素樹脂関連製品等を取り扱うビジネスを「化成品」に、機能性フィルム・シートの表面検査装置等を取り扱うビジネスを「合成樹脂」にそれぞれ区分変更しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間において用いた事業の区分の方法により区分すると次のようになります。

※組替後の前第1四半期実績

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	化成品	合成樹脂	電子	ライフサイエンス	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	74,781	66,457	32,287	13,744	438	187,709	—	187,709
(2) セグメント間の内部売上高	8	57	43	5	1,212	1,328	(1,328)	—
計	74,790	66,514	32,331	13,750	1,651	189,038	(1,328)	187,709
営業費用	72,681	65,385	31,146	13,623	1,608	184,445	(1,408)	183,036
営業利益	2,108	1,128	1,185	127	42	4,592	80	4,673

3. 各区分の主な商品

(1) 化成品

染料、染料用助剤、情報記録紙関連商品、製紙用化学品、石油化学製品、合成化学原料、顔料、塗料、インキ用原料、化粧品・トイレットリー用原料

(2) 合成樹脂

熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、合成ゴム、無機材料、副資材、合成樹脂製品、合成樹脂関連機器・装置・金型、外観検査機

(3) 電子

LCD・半導体前工程用材料及び装置、LSIアセンブリ材料及び装置、電子精密研磨剤、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂

(4) ライフサイエンス

医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、バイオ関連商品、放射線測定サービス、化粧品、健康食品、美容食品

(5) その他

物流サービス、情報処理サービス、職能サービス

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) (単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	124,308	35,398	20,013	4,664	3,324	187,709	—	187,709
(2) セグメント間の内部売上高	18,466	3,122	542	538	850	23,520	(23,520)	—
計	142,775	38,520	20,556	5,203	4,175	211,230	(23,520)	187,709
営業費用	140,409	37,158	19,880	5,132	4,033	206,614	(23,577)	183,036
営業利益	2,365	1,362	676	70	141	4,616	56	4,673

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ
 (4) 欧州 …………… ドイツ

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	日本	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	94,020	22,622	9,932	2,784	2,160	131,520	—	131,520
(2) セグメント間の内部売上高	11,696	949	197	170	872	13,887	(13,887)	—
計	105,716	23,572	10,130	2,955	3,033	145,407	(13,887)	131,520
営業費用	104,516	23,236	10,093	2,972	3,029	143,848	(13,938)	129,910
営業利益又は営業損失(△)	1,200	335	36	△17	4	1,558	50	1,609

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国
 (4) 欧州 …………… ドイツ

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	45,146	24,030	5,596	4,500	79,275
II 連結売上高					187,709
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.0	12.8	3.0	2.4	42.2

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国、カナダ
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	北東 アジア	東南 アジア	北米	欧州 ・他	計
I 海外売上高	29,650	12,878	3,263	2,884	48,676
II 連結売上高					131,520
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.5	9.8	2.5	2.2	37.0

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。